

藤田壽樹先生選評



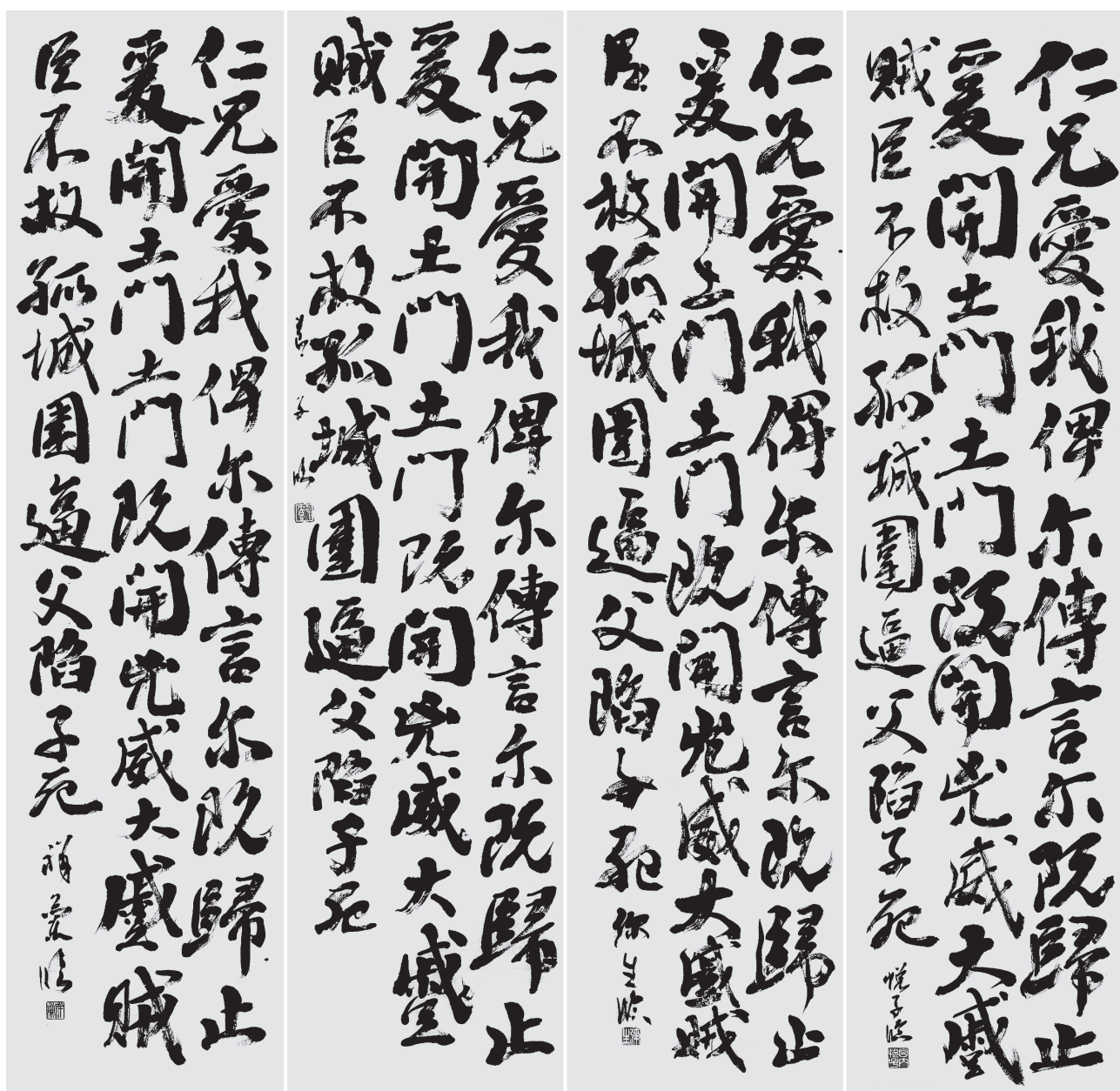
川上天嬌 推選
文字の大きさや太細の変化を運腕の雄大さの中に変幻自在に表現。多彩な線質も素晴らしく、前半の濃縮された密度から後半の開放された字配りに感動する。

田中桂子 推選
柔毛筆を巧みに駆使して達者な書きぶりを示す。白黒の大変冴えた力強さがあり、参考作品の点画構成や表情をさり気なく変更するなど力量の程を見せた作。

四分一悠波 推選
行の中心線を大きく揺らしたり、文字の大小の変化や「敷」の位置。滲みのない用紙を使用して、淡墨を用いるなどの工夫の跡が新鮮。落款も含め見事で目を惹く。

今村燦崇 推選
青墨を用い滲みを意識して表現。二行目の書き出しを下げた点や割れた線を入れ新味を出した印象的な作。隣り合う行の響き合いが美しい。落款はやや窮屈か。

加藤有鄰先生選評



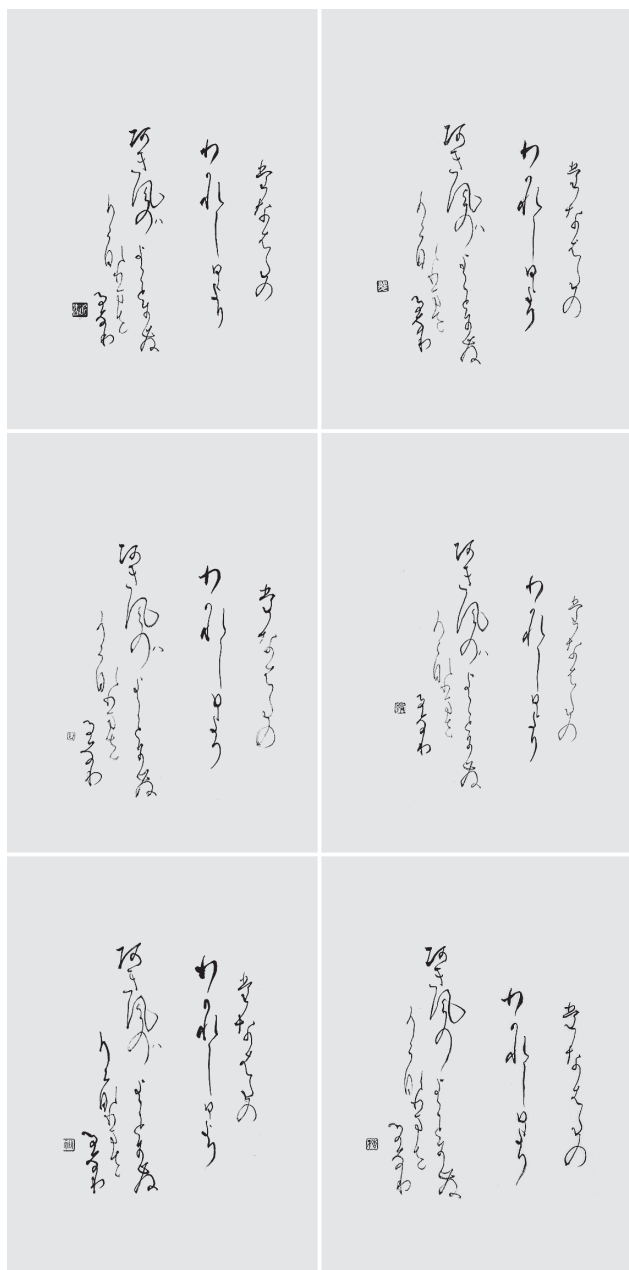
宮内悦子 推薦
墨量豊かに堂々としており、線に余裕と自信が窺える作品です。渴筆部も柔らかに運筆しており、日頃の研鑽の成果が現れた。

小淵彌生 推薦
原帖のもつ大胆さをよく表現されて気合十分の作です。線質も強く、直線的ながらも丸みと温かさがあり、気品を感じさせます。

宮田節子 推薦
筆を柔らかく握り、適度に線の強さを織り交せて品格高い作品としました。余白が美しく、全体を響かせています。落款位置は三行目下でも良かったか。

三ヶ尻祥蘭 推薦
顔法を良く理解し、藏鋒も巧みで感心します。遠くより筆を導き凛としており、伸びやかさと強さをよく表現しています。

吉澤真理先生選評



赤富士北祭先生選評



関村吟香 八段
やや小粒ながら字形美しく、リズム感ある運筆と墨色の推移が巧みです。余白の美しい端正な臨書に魅せられます。

市来みち子 師範
大らかで流麗な連綿線。特に渴筆部の変化に富んだ筆線の墨色の移ろい見事です。師範の落ち着いた風格を感じます。

福井むつみ 七段
奇を衒うことのない大らかな線条が自然体で心地良い。緩急のリズムを取り込む事でメリハリをつけ冴えが増すと更に魅力的に。

白波瀬朝子 師範
穏やかなリズムと丁寧な筆遣いでソフトに表現されました。素直で明るい爽やかな作です。行の流れに一考を揺らぎを大切に。

坂東裕美 三段
運腕大きく暢びやかな筆運びに存在感があります。筆圧の変化良く表情豊かに仕上がりました。墨量に留意されるとよいでしょう。

成田恵子 準師
抑揚に富んだ筆致は原帖の特徴を良く捉えています。上下運動の効いた凛とした線条で重量感ある作となりました。

石川芳草 推選
大字がなで、滲みのある用紙を用いるのは至難の技であるが、墨量を工夫しながら、瑞々しく柔らかな風合いの作品に仕上げました。終句の含墨も効果的です。

得田和 推選
リズムに乗った運筆は、メロディを奏でるようです。硬めの毛質が筆者の心地よさにつながり、渴筆での変化が情感をよく表現しており見事な作です。

江幡太璫先生選評



川畑彩香 師範

力みなく大小をつけて、とても良いリズムで書けています。難しい課題をさらっと書きこなし、白も美しく心憎いばかりの作品です。

中澤麗水 三段

「滞」原帖通りに書くところなりますよね。六字目が少し窮屈になっちゃいましたね。潤渴線の強さお見事です。印は遊印ですか？

内木響山 師範

筆の握り方がとても柔らかく、軽重を見せる線が見事です。蔵鋒、波磔抑揚共に良く流石です。面白い印ですね。

白土博資 五段

柔らかく細身の筆を使い、深い呼吸でじっくり書けています。礼器本来の姿かもしれませぬね。線の交わり良く観ましょう。「臨」どう書きましたか？

菊池ひとみ 準八

墨量充分な分、渴筆が欲しかったですね。全体が少し重く見えます。これからも頑張ってください。同じ筆で「ひとみ臨」として印が欲しかった。

千葉美津 準初

貴方も六字目小さくならず上手に収めましたね。意先筆後が良く、リズム、潤渴もいいです。お名前本文と同じ筆で書く様にしましょうね。

伊藤紅祥 準師

丁寧な筆遣い、息遣いが伝わってきます。「尊」に数本見える渴筆が作品を明るくしました。やはり印が欲しいですね。

吉川佳見 準五

「寸」の横画、蔵鋒からの起筆、抑揚波磔お見事です。光り輝いています。やはり作品を光らせるのは線なんだよね。持ち味大切にして下さい。

牧野華耀 準六

六字目手本はかなり小さくなっていますが立派に書けていますね。二行目長い字ばかりで大変なのにお見事です。章法が素晴らしいです。

野々村春霞 三級

力みなく浮沈がいいので太細、大小、良く線の種類が豊富で白の美しい明るい作となりました。渴筆が欲しかったね。三級？素晴らしいです。

小松崎楓景 七段

筆圧強く重量感あふれる力強い作品ですが、やや大きいですね。次回からは六字。墨量筆圧に気をつけましょうね。落款お見事です。

門馬公生 二段

一本一本の線がついているのか離れているのか、どこから始まっているのかなどよく観ましょう。筆圧強く伸びやかな線が魅力です。